

令和 7 年度第 2 回病院運営審議会 議事録

日時：令和 7 年 12 月 10 日（水）

午後 3 時 30 分から午後 5 時 30 分

場所：湯沢町総合福祉センター2F 会議室

【議事録要約】

1. 町立湯沢病院経営強化プランの点検・評価について（資料 1）

委員：

P. 3 数値目標の訪問診療、訪問看護が C 評価となっているが、スタッフ不足によるものなのか。

事務局：

患者負担が高いことが考えられる。

事務局：

訪問診療は、以前は三国まで行っていたが、現在は対象者がいない。訪問看護は、民間のライフニティ石打、まるご〜との訪問看護ステーションが町内をカバーしているが、三国地区は対応が難しく、群馬の訪問看護ステーションの 2 事業所が来ている。

委員：

P. 7 数値目標の 1 日平均歯科患者数が少ないようだが、混んでいるために一人の人が頻繁に受ける事ができないのか。もっと早く受けられるようにして、多くの人を受け入れてはどうか。

事務局：

3 台ある診察台の内、1 台が壊れており、2 台で稼働している。令和 8 年度に 1 台購入する予定なので、利用が増えることにつながるかもしれない。

湯沢病院（後日回答）：

令和 6 年 6 月末で歯科衛生士 2 名が退職。令和 7 年 12 月まで歯科衛生士 1 名だった事が一番の要因である。

委員：

以前、家族が倒れた際に診察を受けたが、一度返されて、結局具合が悪くなり、また受診することになった。医師の診察はどうなっているのか。

事務局：

先生が来たら改めてお聞きしてもらいたい。

委員：

P.8 計画値、実績の単位は千円か。当期純利益の達成率-693%は、計画に無理があるのではないか。赤字は仕方ないと思うので、-693%という表記にならないような計画にしたほうがよい。

事務局：

町では協定書に基づく赤字補てん、経営健全化交付金 1 億 4 千万円の交付など、2 億円近くを支払っている。また、それとは別に医療機器などにも投資を行っている。ちょうど、開院から 20 年以上が経過して、設備の更新期が重なり負担が増えているが、今後は落ち着く見込み。

委員：

その辺りのことがわかるような町の資料も添付してはどうか。

事務局：

ホームページや町の広報紙にも掲載している。今あるものに金がかかり、新たな投資は厳しい。

委員：

住民を安心させるため、赤字補てんや設備の更新などを分かりやすく掲載してもらいたい。

事務局：

総括に加えたい。

委員：

P.6 電力会社の変更とあるが、入札によって決めたのか。どのくらい削減されたか、信頼のある会社か。

事務局：

こちらではわからないので、病院に確認して後日回答する。

湯沢病院（後日回答）：

電力会社の決定は、入札によるものではなく、本部主導により、電力比較会社で実績に基づき試算してもらい決定している。より経費削減が図られるように、毎年度見直して契約している。約 500 万円の削減見込み。九電ネクストという会社と契約している。

2. 令和 7 年度事業の進捗状況について（資料 2）

委員：

医療機器は購入がよいのか、リースがよいのか。安く購入するための努力はどのようにしているか。

事務局：

見積を取っている。いくつか合わせると安く購入できる場合があるので、少しでも安くするようにしている。

委員：

スチームコンベクションを購入することで食費が下がるのではないかな。

事務局：

今回は入替なのであまり変わらない。

委員：

玄関硬質マットは、根本的に敷かなくてもよい方法はないのかな。

事務局：

冬場、濡れた靴で入る際に、石畳になっていることで水分を吸収する役割があると聞いた。

委員：

町立湯沢病院経営強化プランの点検・評価について（資料 1）P. 8 の収支計画にこれらの事業は含まれているのかな。

事務局：

P. 8 収支計画は湯沢病院の計画、資料 2 は町が行っているものなので、町の決算に掲載される。

3. 病院運営審議会規則の改正について（資料 3）

委員：

任期は 2 年間ということによいか。

事務局：

今までは何が何でも 2 年間だったが、町内会の任期とともに辞めることも可能とする規則とした。ただし、議会承認は必要なので、変更となるたびに、議会にかけることとなる。また、町内会長でなくなった場合でも、本人の意思や地域の事情により委員を継続できるよう柔軟な対応が可能になった。

【審議事項】

委員：

お茶をだしてもらいたい。この審議会に町長も出席していただくことはできないのかな。年に一回でも、昼食をとりながら、町長と先生にも出席していただくことはできないかな。

事務局：

水曜日のこの時間帯でないと先生は出席できない、町長がこの審議会に出席することも難しい。昼食についても色々な面からできない。平日の日中に全員が揃う会議の開催

は難しい。参加者からの意見は、事務局が責任を持って予算要望として挙げるため、無駄にはならない。

～湯沢病院参加～

委員：

現況報告をお願いしたい。

湯沢病院：

病院運営に大きな支障はなく、入院は振れがあるが、介護医療ともに順調。患者数は例年通り季節変動があり、最近は発熱外来が増加傾向。医師は現状維持できているが、看護師はスタッフの病欠等で厳しい状況。年度末の退職者補充が急務。看護師採用は紹介会社経由が多く、紹介手数料のコストが課題。

委員：

現在、緑色のプラスチックの診察券は使っているのか。簡単にならないのか。

湯沢病院：

電カルになりプラスチックカードは不要になった。現在は紙のカードを出しているが、氏名、生年月日だけでよい。自動受付システムの導入には数千万円の費用がかかる可能性があり、費用対効果を考慮すると、電子カルテ等に比べ優先度は低い。

湯沢病院（後日回答）：

カードについてはコストの面でお渡ししていないが、紙の診察券は今まで通り窓口に出していただきたい。

委員：

病床稼働率が 50.5%と低い、ベッド数を削減することはどうか。

湯沢病院：

数床程度の削減では、稼働率が上がったとしても、実数が増えるわけではない。施設基準上スタッフの余剰は生まれず、人件費削減には繋がらない。また、大幅な削減は入院患者が溢れるリスクがあるため、現行体制を維持する。

委員：

三俣、神立方面や冬場の移動困難者に対して、遠隔診療、オンライン診療の導入はどうか。

湯沢病院：

訪問診療は、対象者の死亡や施設入所により件数が減少傾向。新規希望者も少ない。通院が唯一の外出機会という患者の思いや、在宅での高度な介護が困難な世帯の増加がある。遠隔診療については、患者側にサポート人員や端末が必要な上、病院側も専門の医師やスタッフを配置する必要があり、現状の人員体制ではかえって負担が増えるため導入は困難。

委員：

予防医療の推進について、ワクチン接種への補助金増額や、健診・人間ドックの受診勧奨など、町として啓蒙活動を強化してはどうか。

湯沢病院：

町が実施している予防教室等は、他自治体と比較しても活発だと思う。教室などは連携して行っている。

委員：

子育て世代からの要望を4点預かってきたのでお伝えする。1. 子どもの予防接種予約をネットでも可能にしてほしい。2. 耳鼻科、皮膚科を設置してほしい。3. キッズスペースの再設置を希望する。4. 見知った看護師さんがいてくれると、先生が替わった場合も安心できるので助かる。

湯沢病院：

1. ネット予約については、今後検討。2. 耳鼻科、皮膚科の設置については、常勤医確保は困難。一般的な皮膚疾患は既存医師が対応し、重症例は専門医へ紹介する体制をとっている。まずは気軽に相談してほしい。3. 現在は、発熱外来の待合となっているので検討する。

委員：

先ほどの何でも相談してくださいということを、センターたよりに記載してはどうか。日曜日に体調不良の患者が「医師がいない」と一度帰され、その後容態が悪化し入院となったがどういうことか。

湯沢病院：

休日でも入院を制限する方針はなく、担当医の判断によるものと考えられる。詳細を調査する。